

平成30年度 新居浜市立別子小・中学校学校評価

(あてはまる) 4→3→2→1 (あてはまらない)

項目	番号	内 容	評価
学 校 づ くり	1	学校の教育目標の具現化に努めた。	
	2	学校像・児童生徒像・教師像の具現化に努めた。	
	3	開かれた学校づくりに努めた。	
	4	児童生徒一人一人の感性と感動を大切にする学校づくりに努めた。	
	5	持続可能な開発のための教育（E S D）を推進できた。	
	6	世界に羽ばたくリーダーの育成に努めた。（中学校のみ）	
教 育 課 程	7	各教科等の授業時数は確保できた。	
	8	各教科等の目標は十分に達成できた。	
	9	交流及び合同学習が計画的に実施できた。	
	10	各週行事の計画・実施・運営は適切だった。	
	11	学校行事等の内容や位置づけは適切だった。	
学 習	12	基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着と応用力の伸長を図っている。	
	13	I C T機器を積極的に活用した。	
	14	自ら考え、判断し、主体的に実践する態度の育成に努めた。	
	15	自己実現を図る進路指導を推進している。（中学校のみ）	
	16	「学習のねらい」や「学習の流れ」を示した授業を行った。	
	17	個の教育的ニーズに応じた指導・支援を行った。	
	18	体験的・問題解決的な学習を取り入れた。	
	19	学習習慣・学習態度の訓練が継続的にできた。	
	20	関心・意欲・態度を重視した適切な評価を行い指導改善に生かした。	
生 徒 生 活 指 導	21	基本的な生活習慣(挨拶・言葉づかい等)の確立に努めた。	
	22	「合理的配慮」や「インクルーシブ教育」に基づいた指導に努めた。	
	23	教育相談の充実と温かい人間関係づくりに努めた。	
	24	安全に対する的確な判断力・行動力など、自己管理能力の育成に努めた。	
	25	生徒理解のための情報交換ができた。	
人 権 和 道 徳 教 育	26	道徳性の育成に努め、豊かな感性・感動する心の育成に努めた。	
	27	自尊感情を高め、温かい仲間意識に支えられた集団作りに努めた。	
	28	人権意識を高める現職教育の充実に努めた。	
	29	「いじめ」の発生しない教育環境作りに努めている。	
	30	地域の一員としての自覚と共生の心の育成に努めた。	
健 康 安 全 指 導	31	児童・生徒の救護の処置や指導が適切だった。	
	32	心の健康の保持・増進に努めた。	
	33	安全点検を実施し、顕在・潜在危険の除去に努めた。	
	34	交通安全指導を計画的・継続的に行った。	
	35	望ましい食習慣と豊かな心を育てる給食指導ができた。	
保 護 者 地 域 と の 連 携	36	保護者との連携、協力態勢は適切だった。	
	37	地域との連携、協力体制は適切だった。	
	38	P T Aと地域の連携、協力体制は適切だった。	
施 設 設 備	39	施設・設備等の管理は適切である。	
	40	設備・備品を工夫して活用できた。	
	41	施設・設備等の点検、整備は適切である。	
	42	非常変災に備えた準備や訓練は適切である。	
寮	43	立志寮の運営は適正であった。	
	44	学校と寮との連絡、連携は適正であった。	
そ の 他	45	校務分掌組織は機能していた。	
	46	学校運営は計画的・合理的であった。	
	47	教職員相互の連携と協調はなされていた。	
	48	サービスは厳正であった。	